

第1回 総合計画 Yu-Me (ゆめ) 会議

日時 | 令和元年6月22日(土)

13:30~16:30

場所 | 福島市市民会館

第2ホール

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 説 明

・総合計画とは?、Yu-Me (ゆめ) 会議とは?

4 講 話

演題 | いっしょにやる、ということ

～ 今、なぜ「対話」を活かした市民参画が求められているのか ～

講師 | 福島市総合計画市民参画アドバイザー

加留部 貴行 氏

5 ワークショップ

進行 | 福島市総合計画市民参画アドバイザー

加留部 貴行 氏

6 その他

・今後のスケジュールについて (ほか)

7 閉 会

福島市総合計画市民参画アドバイザー



か る べ たかゆき
加留部 貴行 氏

- 国立大学法人九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授
- 特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会 フェロー
- 認定特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 理事・運営委員
- 加留部貴行事務所AN-BAI 代表

【プロフィール】

- ・ 1967年福岡県出身。1990年九州大学法学部卒業後、西部ガス(株)入社。人事、営業、新規事業部門に従事。
- ・ 2001年に福岡市へNPO・ボランティア支援推進専門員として2年半派遣。07年から九州大学へ出向し、ファシリテーション導入を通じた教育プログラム開発などを担当。
- ・ 企業、大学、行政、NPOの4つのセクターを経験した「ひとり産学官民連携」を活かした共働ファシリテーションを実践。
- ・ 2011年4月に独立。現在は、加留部貴行事務所AN-BAI代表。
- ・ ほかに、福岡県行政改革審議会委員、福岡市総合計画審議会委員、福岡市研修企画アドバイザー、酒田市総合計画市民参画アドバイザー、早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会幹事など。
- ・ 著書に『チーム・ビルディング』『教育研修ファシリテーター』（いずれも共著、日本経済新聞出版社）など。
- ・ 『月刊ガバナンス』（ぎょうせい）に「ファシリテーションdeコミュニケーション」を連載中。

いっしょにやる、ということ

～ 今、なぜ「対話」を活かした市民参画が求められているのか ～

国立大学法人九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授

認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事・運営委員

特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会 フェロー 加留部 貴行

1. 「対話」とは

- ・誰も「正解が分からない時代」を生きている

・「対話」 = ×

2. 時代の変化の中で「限界集落」化しつつあるコミュニティ

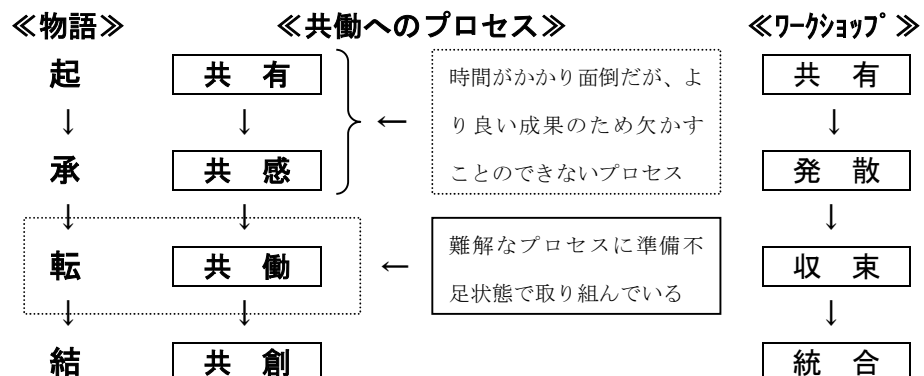
- ・「孤軍奮闘・孤立無援」だらけの現場 ～「限界集落」の本当の意味
- ・「少子高齢化」は地域だけの問題ではない ～10年後に何が起こりそうか
- ・「社会関係資本(ソーシャルキャピタル)」を取り戻す
⇒ 3つの要素…「信頼」、「互酬性の規範」、「ネットワーク」

3. 各地で広がる多様な「対話の場づくり」

- ・話をしていそうで、話をしていない人同士で、話をする
- ・『人「交」密度』(人の交わりの密度)を増やす ～多様な世代が関わる機会を創る
- ・中高生に潜む力から学ぶべきは大人たち ～大人は何をすべきかを考える

4. 「共働」は「ストーリーづくり」

【図】共働へのストーリーとワークショップ (加留部作成)



～ メ モ ～

A series of horizontal dashed lines for writing.